

始 まりは育児サークル

育児サークルを立ち上げたきっかけは、「まず自分が、子育てのことなどを話せる友だちが欲しかったから。0歳から1歳くらいの頃って親同士の出会うきっかけがないんですよ。」と語る泉さん。3年後には、同じく牛津町で絵本の読み聞かせをする「おはなし会」の立ち上げにも関わった。

そんな中、下の子を幼稚園に入れた頃から『社会復帰をしたい』という思いが強くなる。今までの経験を活かせる人のためになる仕事を考えた時、託児所をやろうと決めたそうだ。

保 育に込める想い

少人数での保育にこだわる泉さん。その理由を尋ねると、「子どもが『抱っこ』と言えば抱っこでできるような環境にしたかったんです。3歳までの子育ては、家でいう基礎づくり。この時期にしっかり愛情を注ぐことで、子どもは自分が愛されていると感じ、自信がもてるようになります。お預かりしている大切な子どもたちですので、保護者の方と同じ目線で育てていきたいんです。」とこころ。

また、「子どもと同じように保護者も大事。保護者の悩みや気持ちに楽になるような保育をしたいです。」と語る。

未 来を担う子どもたちのために

長男が入団しているミュージカル劇団「ティーンズミュージカル SAGA」の運営にも携わっている。現在、今月佐賀で開催される「食育推進全国大会」に出演するための準備に取りかかっている。10月には、文部科学省からの依頼で上海万博日本館での出演も決定。忙しい毎日を送る。

一人で何役もこなすそのパワーと明るさは周囲を元気にし、やさしいまなざしは子どもたちを優しく包みこむ。これからも、保育者、教育者としての活動を続けていく。

I Love Logi

第9回
～ アイラブ おぎ ～



泉 万里江さん

- プロフィール
保育士として5年、小学校で講師を3年務め、結婚を機に牛津町へ。平成7年、小城市内初の育児サークル「ひまわり」を立ち上げ、平成11年に、託児所「託児ルームMAMA」をスタート。保育や子育ての経験を活かし、平成17年から2年間、小城市総合計画審議会の委員も務めた。自身の愛読書『子どもへのまなざし』（佐々木正美著）は保育のバイブル。2児の母。

●ギャラリー



- ▲ 託児所にて。今月から移転し、名称も「そらいろ保育園」に変わった。



- ▲ おすすめの絵本たち。季節に応じて入れかえる。



- ▲ 絵本に合わせて読み方を変える。子どもたちも夢中で聞いていた。